



CONTENTS

1面	特集インタビュー 柳本晶一さん	3面	「心でつなぐスポーツの絆」中体連会長・松岡敬明さん/高体連会長・小野力さん
2面	カンコー学びプロジェクト	4面	トピック 岡山県立岡山芳泉高校・大橋阿佐子さん シリーズ 先生リレー 鳥取県立米子南高校・田中宏明先生

### ひんとづくり インタビュー 【Vol.1】

## 柳本 晶一 さん

全日本女子バレーボール アテネ・北京オリンピック監督

# 子どもは伸びる—。その瞬間を見逃さないでほしい

スポーツを通じて、今の子どもたちに伝えたいこと、そして子どもの能力を引き出す指導者へのメッセージとは。世界を舞台に戦ったバレーボール界の第一人者・柳本晶一さんにうかがいました。



### 東京オリンピックの感動から 始まったバレーボール人生

子どもの頃からスポーツが好きで、小学生の頃はいつも草野球をして遊んでいました。中学になったら野球部に入るつもりだったのですが、進学先の中学校には野球部がなかった。それで、友だちに誘われてしかたなくバレーボール部に入りました。当時は体育館ではなくて、運動場のオープンコートでしたから、レシーブで転ぶたびに痛くてね。しかも、誘ってくれた友だちはさっさとレギュラーポジションに上がっていった。僕は補欠で毎日基礎練習ばかり。キツいし、上手くならないし、バ

レーボールなんて早くやめてしまいたいと心底思っていました。東京オリンピック(1964年)が開かれたのがちょうどその頃、中学一年の時です。バレーボール全日本女子チームが金メダルをとりました。『東洋の魔女の活躍に日本中が熱狂するのを見て、体中の血が沸き立つように興奮したのを今でもよく覚えています。親にも内緒で嫌々やっていたバレーボールなのに、日本が金メダルをとったスポーツを自分もやっているんだと思うと急に誇らしくなっていました。いつかあの舞台に自分も立って

みたいと強く意識するようになりました。そこからはバレーボール一筋。気がついたら10年後、夢だった日の丸のユニフォームを自分が着ていたんです。



**やなぎもと・しょういち**  
全日本女子バレーボール アテネ・北京オリンピック監督  
1951年大阪府生まれ。大阪商業大学附属高等学校卒業後、帝人三原に入社し実業団リーグに出場。その後全日本代表としてモントリオールオリンピックに出場、4位となる。1991年に監督専任となり、1997年、女子・東洋紡オーキスの監督に就任。2年目でVリーグ優勝へ導く。2003年に全日本女子チーム監督に就任。アテネ、北京オリンピックに出場し、いずれも5位の成績を残した。現在、(一社)アスリートネットワーク理事長、(一社)日本アスリート会議議長・理事長、芦屋大学特任教授・スポーツ教育センター長。

### 何かに一心にのめり込む力を 大事にしてほしい

今の子どもたちを見ていると、スポーツをする環境は昔に比べるとずいぶん整って、物質的にも恵まれているなど感じます。その反面、何かに食らいついていくエネルギーのようなものが弱くなっているのかなとも思いますね。社会が多様化して、インターネットからあらゆる情

報が手に入る。やる前からすでにいろいろなことを知っているのでしょう。失敗しないよう前もってリスクを予測して、自らのハードルを下げてしまう。本当の力は、理不尽なことにぶつかったり失敗したりしながら、それに耐えることでこそ身につくもの。子どもは失敗するのが

当たり前なんです。周りの大人や先生たちも、そこを割り切ることができればラクになれるのじゃないですか。これやってみないなあ、あなりたいいなあ、そういうシンプルな言葉、動機みたいなものからなんでもい、そこから迷わずなにかにぐーっとのめり込んでいく、そういう時間や体験というのがとても大事なんじゃないかなと思います。

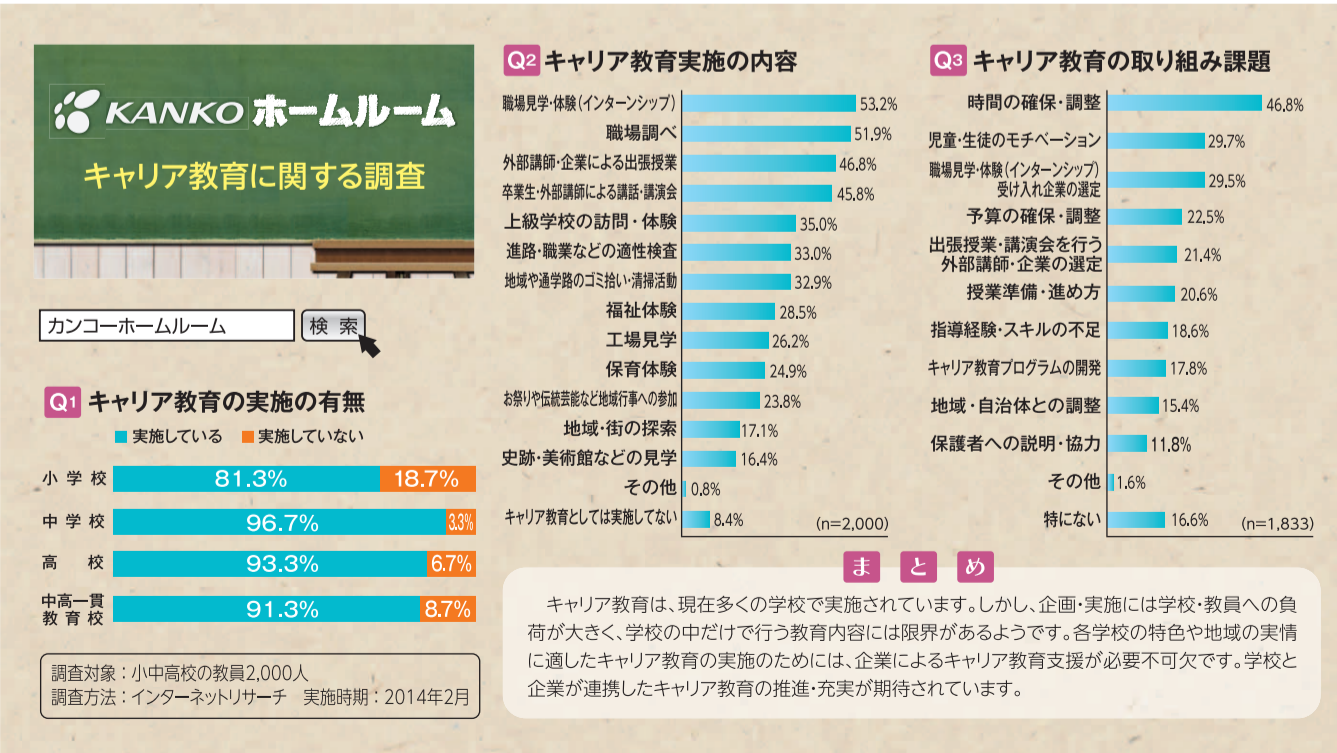
### 夢を持たせ、手を添えながら一緒に伴走する

30年間、指導者という立場で選手や子どもたちと接してきて思うのは、どんなに不器用で上達が遅い子どもでも、一生懸命やっ

ている限り、下手なままで終わることは決してない、ということ。これはスポーツに限らずいえることだと思いますね。



カンコーバレーボールクリニックでの指導風景



### ダンス教材DVDを無償でご提供しております

ていねいな解説つきで振り付けを学べる、ダンス教則DVDを制作しました。そのまま授業で活用いただけるよう、易しい言葉や表現で説明しています。

ご用命はカンコーの担当営業まで

第4回 カンコーくるくるダンスコンテスト 12/26(日) 開催

ダンス授業の発表の場としてカンコーくるくるダンスコンテストを実施しています。

詳しくは [くるくるダンス](#) 検索



「負ける」ことが次につながる

そのためには、明確な目標を持たせること。選手や子どもたちが一生懸命になれる環境をつくらなければならない。

伸びる幅やスピードは子どもによってまちまちですが、どんな子にも必ず伸びる瞬間がある。指導者や先生方はそのタイミングを見逃さないでほしい。

「負ける」ことが次につながる。そのためには、明確な目標を持たせること。選手や子どもたちが一生懸命になれる環境をつくらなければならない。

ただ、子ども一人の力には限界があります。そこを指導者が上手く手を添えて出せる力を広げてやってほしい。

# 学校生活をもっと楽しくアクティブに! KANKO MANABI PROJECT. カンコー 学び プロジェクト

カンコーは、様々な教育支援活動(カンコー学びプロジェクト)を通じて「夢に向かう子どもたちの成長」を応援しています。ここでは、その活動を紹介しします。



正則学園高等学校の授業風景

「ドリムマップ」は、口もいえる学習で、自分の将来の夢を具体的にビジュアル化することを目指す。最初はなかなか夢で目標を達成していく自己実現ツール。相模原市立中野中学校で行われたドリムマップ出張授業では、ドリムマップ普及協会の講師とカンコーのドリム先生が生徒と熱心に向き合いながらドリムマップの作成から発表までを指導し、一人ひとりの夢の実現を応援しました。

「ドリムマップ」は、口もいえる学習で、自分の将来の夢を具体的にビジュアル化することを目指す。最初はなかなか夢で目標を達成していく自己実現ツール。相模原市立中野中学校で行われたドリムマップ出張授業では、ドリムマップ普及協会の講師とカンコーのドリム先生が生徒と熱心に向き合いながらドリムマップの作成から発表までを指導し、一人ひとりの夢の実現を応援しました。



相模原市立中野中学校の授業風景

## 活動 レポート①

神奈川県・相模原市立中野中学校 東京都・正則学園高等学校

### なりたい自分にどんどん近づく、ドリムマップづくり

ダンスを通じて児童のコミュニケーション力・創造力・学習意欲を高める「踊育(だんいく)キャリア教育プロジェクト」が6月3日〜7月15日にかけて、泉大津市立条南小学校で実施されました。5年生121人がプロのアドバイスを受けながら、ダンス活動に挑戦しました。菅公学生服株式会社はユニフォームのプロとして、ダンス発表会で着用するユニフォーム制作をサポートしました。児童たちはダンス班、ユニフォーム班、音楽班に分かれてダンス作品を作っていました。短い期間でしたが、児童は前向きに取り組んでいました。

## 活動 レポート②

大阪府・泉大津市立条南小学校

### 踊育(だんいく)キャリア教育でユニフォーム作りをサポート



チームマークのデザイン制作



オリジナルユニホームを着て発表会でダンスを披露

## 活動 レポート③

岡山県・岡山県立岡山南高等学校

### カンコーと高校が連携し、産学連携のキャリア教育を実施



オリジナルタータンチェックの作成

産業界と教育現場が連携し、人材育成やキャリア形成の教育に取り組む「産学連携実学体験プロジェクト」。7月17日、岡山県立岡山南高等学校で、連携企業である菅公学生服株式会社と本校とが調印式を行いました。本校には、服飾デザイン科という専門の学科があり、学生服メーカーの「カンコー」ともとても近い関係にあります。社員の中には同校の卒業生も数多く在籍しています。これまでも、生徒個々のキャリア・アップを目指す目的で、実際の企業活動を学ぶ「インターンシップ」や工場見学、学校側の期待も高まって「次世代体操服」をいいます。

「踊育(だんいく)キャリア教育プロジェクト」が6月3日〜7月15日にかけて、泉大津市立条南小学校で実施されました。5年生121人がプロのアドバイスを受けながら、ダンス活動に挑戦しました。菅公学生服株式会社はユニフォームのプロとして、ダンス発表会で着用するユニフォーム制作をサポートしました。児童たちはダンス班、ユニフォーム班、音楽班に分かれてダンス作品を作っていました。短い期間でしたが、児童は前向きに取り組んでいました。



まつおか・たかあき 全日本中学校長会 会長 (公財)日本中学校体育連盟 会長 昭和30年3月東京都生まれ。明治学院大学文学部英文学科卒業後、東京都公立中学校教諭、東京都教育庁人事部指導主事、東京都教育庁指導部指導主事、渋谷区教育委員会指導主事、杉並区教育委員会指導室長、東京都教職員研修センター教育開発課長などを歴任。現在、東京都武蔵野市立第一中学校校長

# 目標を共有し「チーム力」を育む

公益財団法人日本中学校体育連盟会長 松岡敬明氏

## 異年齢の集団による心の発達

文部科学省の指針として、現在の部活動は学校教育活動の一つとして明確に位置づけられており、学校生活の中で授業と同じように大きな役割を担っています。特に中学生にとっての体育系部活動は、体力の基礎を養うという意味でも重要な活動といえますね。

私は、校長として新入生一人ひとりと個人面談を行うのですが、「中学生になって、小学校時代に想像していたことと一番違うと感じることはなに？」と聞くと、「部活の先生や先輩が親切に教えてくれる」と答える生徒が意外に多いことに驚きます。さらに「3年後はどんな自分になりたいですか？」と聞く

## 教員の仕事は「人を育てる」こと

体育系部活動に関していえば、競技には必ずルールがあり、ルールを守らなければ試合に勝つことはできません。これは、社会規範や秩序を学ぶことにもつながります。また、スポーツは、頭で理解して分かる授業とは違い、身体を動かしてコツをつかみ、感覚や技術を身につけていくわけですから体験的要素が非常に大きい。同時に、日常の練習や競技を通して、苦しさや悔しさ、そして喜びや感動など、メンタル面での経験も養われます。

さらに部活動を通して育まれるものとして「チーム力」が挙げられます。チームは単なるグループとは違って、メンバー全員が同じ目的意識を共有します。能力も性格も個々に違う生徒が、目標に向かって心を一つにして練習に励む。たとえ主力で活躍できなくても、チームの一員として自分にできる役割を見出しながら努力する。そこに

分でありたいですか？」と聞く。部活をしている生徒からは「下級生から信頼され尊敬される存在でありたい」という答えが返ってきます。

部活を通して異年齢と交わり、先輩に対して同級生の友だちとは違う「憧れ」を抱く。直近の目標となる人生モデルをそこに見出すのではないかと思います。

利己心を抑制し、他者を生かす思いやり精神も生まれるのではないのでしょうか。先輩との上下関係や礼節、仲間との協調は、いうまでもなく社会性を磨く基礎になります。まさに部活動は、生きるために必要なさまざまなスキルを身につけることができる貴重な教育の場だと実感しています。

指導する教職員へは、子どもたちへの接し方として、「結果」に対する評価だけではなく「プロセス」に対する評価も大事にしてほしいと思います。中学生は心身ともに発達途上の年齢です。「ここはできた」「ここはがんばれた」と、現時点での努力を認めながら、心と身体の成長を見守ってほしいですね。

## 中高生の体育系部活動の意義とは？

# 心でつなぐスポーツの絆

中学生や高校生にとって、学校生活の中でも重要な部分を担う部活動。子どもたちの運動離れが叫ばれる中、「生きる力」を育む体育系部活動の魅力や意義について、中体連会長・松岡敬明先生と高体連会長・小野力先生にうかがいました。

# 励まし、社会で生きる力を育てる

公益財団法人全国高等学校体育連盟会長 小野力氏

## 自主性を発揮できる指導を

高校生の部活離れが問題視されていますが、高校の体育系部活動の加入率は、20年前の33%に比べ、近年は38%と増加傾向にあります。最近では、団体競技に比べると、バドミントン、弓道、テニスなどの個人競技がや

部活動における教育の大きな目的はやはり人間形成。なにかに打ち込んでいく集中力、目的に向かう意欲、仲間との連帯感

など、部活を通して学び養われるものは、社会に出ても大いに役立つものと感じています。

高校の体育会系というと、一般に厳しい、つらいというイメージがありますが、指導スタイルは以前とは様変わりし、今は一方的なスパルタ指導の時代ではなくなっています。生徒の自主性を尊重し、自分で考えさせて任せる。グラウンドやコートの中で、いかにその素晴らしいパフォーマンスが発揮できるか、指導者は、普段の練習で一人ひとりの性格や動き方をよく観察し、自分で判断できるように導いてやるのが大切です。

最近では、顧問一人の力に頼るのではなく、さまざまな分野の専門家とコンソーシアムを形成し、高校生アスリートを育てる動きも始まっています。開かれた部活運営を心がけ、他校の顧問や競技団体の関係者、保護者とも積極的に交流してほしいと思いますね。

## スポーツマインドを育てる

とりわけ先生方に心がけてほしいのは、コミュニケーションづくり。中でも普段の声かけです。LINEやメールで友人と会話する今のネット世代の生徒たちを見ると、フェイス・ツー・フェイスのコミュニケーションがほとんど希薄になっていくと感じます。顔を合わせた時に「調子がどうなあと

か「持久力に自信を持っていいぞ」「スプリント能力が高いな」とかなんでもいい。なにかいいところをみつけて励ましてやってほしい。自尊心を育てる上でも大切だと思いますね。

スポーツは、試合に「勝つ」ことだけが目的ではありません。もちろん明確な目標がある

と、生徒たちはそこに向かって

頑張ります。けれど、指導に熱が入りすぎるあまり、生徒がそこで燃え尽きてしまったりは元も子もない。本来のスポーツの意義である「楽しさ」や「充実感」を高校時代に十分に分かち合いたい、卒業して社会人になってもスポーツを続けられるよう、生涯スポーツの素晴らしさやマインドの部分まで伝えてほしいと思います。

実際、スポーツを通じた仲間との出会いは人生をより豊かにしてくれますし、自分の健康や体調の維持管理にも運動やスポーツは欠かせません。一人でも多くのスポーツ好きな青少年を育ててほしいと思いますね。



おの・つとむ (公財)全国高等学校体育連盟 会長 昭和30年9月神奈川県生まれ。日本大学文理学部体育学科卒業後、神奈川県立大船高等学校教諭、神奈川県教育委員会スポーツ課主幹、神奈川県立永谷高等学校校長、神奈川県教育局教育指導部保健体育課課長などを歴任。現在、神奈川県立横浜平沼高等学校校長。

トピックス  
総文祭の書道部門で「菅公賞」を受賞！

岡山県立岡山芳泉高等学校 大橋阿佐子さん

「第38回全国高等学校総合文化祭」(いばらき総文2014)の書道部門において、岡山県代表の大橋阿佐子さん(岡山芳泉高校3年)の作品「臨 香紙切」が菅公賞(出品数300点のうちの優秀作品5点)に選ばれました。

高校3年間は書道部に在籍。3年間の努力が実りました。(大橋阿佐子さん)

書道部でのボランティア活動

「菅公賞」とは？  
「全国高等学校総合文化祭」の書道部門の特別賞。夢に向かって書道の研さんに励む生徒を応援するためカンコーが設立した賞です。

series **先生リレー** Vol.1  
～先生方の日々の雑感をリレーで綴ります～

鳥取県立  
米子南高等学校 教頭  
**田中 宏明**先生

「スポーツスピリッツ」とは人とのつながりである  
教員になり、29年間ハンドボールの監督に携わった。「強くなりたい」。そのことばかりを毎日のように考えてきた。強くなるためには「競技力」だけでなく、協力してくれる保護者、大会を運営するスタッフ、運営を支援してくれる企業、学校生活を支えてくれる教職員、敵味方を越えた観客など、周りの人たちとの強い結束が不可欠である。  
プレーヤーや周りの人を奮い立たせ、感動させるもの、それこそが「スポーツスピリッツ」と呼べるものではないだろうか。スポーツの本質を真剣に考え、何をすべきか、自分自身で捉えることが大切なのだと思う。

カンコータイムズ 創刊号  
プレゼントコーナー

プレゼント ① カシオ  
**ハイスピードデジタルカメラ 1名様**

プレゼント ② **教員専用ビジネス手帳 10名様**  
(カンコーオリジナル)

応募方法  
WEBサイト、もしくはアンケート用紙よりご応募ください。 [カンコー学生服](#) 検索

※応募締切は12月20日(土)まで

校長先生からの一言

校内に掲示している本校の建学の理念を示す『気宇广大』は大橋さんの力強い揮毫によるもの。書道部の活躍は学校生活に深みを与えてくれます。

書道部顧問の先生からの評価

今回の受賞作は、平安時代の優雅で美しい仮名への理解を深めながらその鋭い線質を見事に表現。普段の活動ではさまざまな書に意欲的に取り組んでいます。(日下恭子先生)

授業に役立つ **CASIO 学校専用 ハイスピードカメラ**

ハイスピードカメラで、充実した授業を支援します!

学校向け撮影モード

EX-SC100

さらに詳しくはWEBで  
[http://casio.jp/dc/products/ex\\_sc100/](http://casio.jp/dc/products/ex_sc100/)

商品のお申し込みは、カンコータイムズ事務局まで  
電話番号 086-898-2590 FAX 086-898-2513

中高生向け **フォーサイト** 「ふ・り・か・え・り」の「く・り・か・え・し」で自立力を育む

中高生の「成果づくり」「自分づくり(自立)」をすることを目的に開発した手帳です。

部活と勉強の両立は、この1冊でOK!

全国の部活で導入されています。サンプル請求で、ぜひ実物を一度ご覧下さい。

教員限定 **フォーサイト** 学版

無料サンプルお申込受付中

お申込はこちらまで!  
<http://foresight-planner.jp/>

※上記の通常販売価格は2015年3月末日までのご注文分に限りです。株式会社 FCEエデュケーション ☎ 03-5827-7577

先生の「課題解決」支援策をご提案!

**カンコー学生服は、教育支援活動で「夢に向かう子どもたちの成長を応援」していきます。**

**KANKO MANABI PROJECT.**

学びの支援

- キャリア教育支援  
ドリームマップ授業・キャリア教育事例のご紹介
- 家庭科教育支援  
家庭科の授業をご支援する様々な教材や活動のご紹介
- ダンス授業支援  
ダンス授業の支援活動・教員向けダンス講習会のご案内
- 環境授業支援  
身近な「制服」を題材に、生産や再利用についてのご紹介
- 着こなし支援  
新着こなしセミナー「衣塾」のご紹介

夢の応援 **KANKO DREAM PROJECT.**

- 講演会の開催  
元スポーツ選手などによる講演会の開催
- クラブ活動支援  
体育部・文化部の双方のクラブ活動支援
- 夢の舞台開催  
ダンスコンテストの開催

学校広報のご支援 **KANKO PROMOTION SUPPORT**

- 周年イベント支援  
イベントを盛り上げる様々なモノ・コトのご紹介
- 広報支援  
私学展・公立展等での様々な学校広報支援策をご紹介
- 制服プロモーション  
学内外へ向けた新制服のPRご支援

お問い合わせ先 | 菅公学生服株式会社 お客様相談室 フリーコール 0120-712983 9:00~17:30/土・日・祝日除く。\*携帯電話、PHSからもご利用いただけます。 [カンコー学生服](#) 検索 <http://kanko-gakuseifuku.co.jp/>